

## 刊 行 に あ た っ て

歯科衛生士学校が3年制へと移行し、各校で特色のあるカリキュラムが組まれています。そのため、以前よりも充実した教育を受けてから、臨床現場へと羽ばたく歯科衛生士が増えています。

しかしながら、いざ現場に出てみると、学校で教わっていないことや各医院での決まりごとたくさんあり、最初は学んだり慣れたりするのに時間がかかるのが現実です。そして、先輩歯科衛生士がいなかったり、いても診療で忙しくて後輩の教育に時間を割けなかったりと、**基本的なことを教える・教わる環境が整っていない**場合も多々あります。

そこで今回、現場で働くうえで、最低限これだけは押さえておきたい、ベーシックかつ実践的な知識を見開きでコンパクトにまとめ、最後に問題とポイントを整理する**ドリル形式**の本書を企画いたしました。

本書は本文中の大切な箇所を赤字で表記し、添付の赤いシートを当てると見えにくくなる加工を施しています。そのため、最初にざっと読んで、そのあとでシートを当ててどんな語句が入るのかを考えるなど、設問などが無い項目でも、**多様な学習ができる**ように工夫しています。

本書は、**経験の浅い方でも学べる作り**になっています。その他にも、**「新人や後輩歯科衛生士を教育してあげたいが、時間が割けない」方**  
**「基本的なことがわからず、いまさら聞きにくい」方**  
**「歯科衛生士の仕事に復帰したいけれど、ブランクがあって不安」**な方などにも活用いただける1冊です。どんなことでも、**基礎ができていてこそ、大きく飛躍できるもの**。本書はその**基礎のなかの基礎を独学で学べる、いままでにない1冊**になっていると自負しています。

本書が多くの歯科衛生士が臨床現場で活躍するベースとなり、患者さんの健康を支える一助に繋がれば、望外の喜びです。

2017年8月  
CASK 一同